

公益財団法人千里リサイクルプラザ平成29年第2回理事会議事録

1. 開催日時 平成29年5月9日(火)午後2時00分から同2時40分まで
2. 開催場所 吹田商工会議所会館 2階 第1会議室
3. 理事現在数 10名
4. 理事定足数 6名
5. 出席理事数 10名
西川 俊孝 門脇 則子 岸 勝司 梶谷 尚義 小南 康隆
三田 和司 土屋 正春 寺西 重博 安田 博明 吉川 英次
6. 出席監事 竹内 等 中川 孝基
7. 会議の目的事項
決議事項 第5号議案 平成28年度(2016年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告及び決算の件
第6号議案 平成29年(2017年)定時評議員会招集の件

8. 会議の概要

(1) 議長の確認

冒頭で山口耕右事務局長が司会となり、本日の議長は定款第37条の規定により西川俊孝理事長が務める旨を報告した。

(2) 定足数の確認

議長は、本日の出席理事数が10名で定足数を満たしており、本日の理事会が有効に成立していることを報告した。

(3) 議案の審議状況及び議決結果

議案に先立ち、山口事務局長が本年4月1日付での事務局職員の異動及び庶務担当が研修、広報を積極的に位置づけるという主旨で総務担当へ名称を変更した旨、説明を行った。その後、各議案の説明に続いた。

①第5号議案「平成28年度(2016年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告及び決算の件」

議長は第5号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、事業報告については山中参事と天野主幹が、計算書類については中島主査がそれぞれ議案書を基に順次説明した。

報告が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ、次のような質疑応答があった。

(小南理事)

学校の環境学習の支援(自主事業)における①授業やクラブ活動の支援ということについて、参加している小学校名が列挙されているが、非常に良く参加している小学校と全く参加していない小学校がある。例を挙げると北千里地区では2校の小学校が全く参加していない。前回の事業報告時も同様だった。これはそれぞれの学校の環境学習に対する取組みの表れのように思えるが、同地区にある小学校の内、1校は8回か9回参加していて、隣接の2校の小学校は1回も参加していないというのは、学校自体が環境学習に対してどういう認識が持っているのか、以前から気になっている。今回も同じ状況なので説明をいただきたい。

(山中参事)

学校への環境学習支援については、毎年6月の校長会にプラザ事務局が外向いて説明を行っている。小南理事のご指摘の同じ学校が幾度も参加しているという点は、正規授業以外のクラブ活動を行っている8校を中心に支援を行っている。北千里地区の(多数参加している)1校も3年前から、少ない枠の中に入れてほしいという要望があり、これに応えたもの。プラザから派遣する指導員の数も少ない状況で

あり、全ての学校の要望に応えることはできないのが現状。単発的な学校の学年の指導には出向しているが、小学校全36校の学校全部の希望には添えていないのが現状である。

(岸専務理事)

プラザから派遣していない場合でも、学校や地域で環境学習を行うことを目的に設立されているシニア環境大学の卒業生が環境学習支援を行っているケースもある。プラザから派遣の少ない小学校であっても必ずしも関心がないわけではないことを理解いただきたい。

(吉川理事)

リユース食器の貸出状況について聞きたい。自主事業としてのリユース食器の貸出に関する数字が出ている。今回、私は、「吹田祭り」の江坂会場で模擬店の世話役をするが、実行委員会並びに事務局からエコの観点からCO₂を発生させないトレイを使用して欲しいという要望があった。今、その検討をしているが、実際に使うとなるとコストが高い。それで食べ物を提供することをやめようという出店団体も出ている状況である。以前にもリユース食器を使えないか話は上がっていたが、全体の食器数が少ないということ、洗浄車も1台しかないということで、大規模な祭りには使えないという話だった。一方でCO₂を発生させない容器の使用はコストが高くなる。祭りを盛り上げるためには、子どもが喜ぶようなものを提供する必要がある。地域の要望もあり、今後プラザとしてリユース食器を増やすという予定はないか。

(山中参事)

リユース食器は環境への負荷を抑えるという形で、イベント時のごみの減量に繋げていきたいという主旨で取り組んでいる。ただ、リユース食器の利用については、分別の人数や費用の問題が派生する。これまでは吹田市のイベントではなかなか使ってもらえなかった。過去には使用例もあったが、それは無料にしたとき。この実状を踏まえ、できるだけ拡大を図るため、吹田市内のイベント、あるいは吹田市の事業者等を対象として、本年半年間に限って貸出料金を半額にし実績がどう伸びるか調査、研究をする。また、貸出の数については、ある程度の要望について貸出個数は対応することができる。

(山口事務局長)

補足すると、吹田市内での取組団体が若干減少しているという状況がある。プラザは全国的にも貸出をおこなっているが、吹田市以外ではそれほど大きく減っているという状況ではない。半年間に限り、貸出料金を半額とし取り組むことで差別化を図り、料金が下がれば貸出数が増えるかを含めて検証する。ただ、山中参事の説明にあったように、この事業は人手が多くなるという声もある。吉川理事が言及されたようにエコトレイの使用という新たな手法で、人手をかけずに行う方法の検討もされている。リユース食器を多くの人に知ってもらうという意味で、本年4月にプラザ4階広場でエコバーベキューを実施した。このイベントはリユース食器の使用を条件として実施したため、これまでほとんど関心のなかった70名近くの参加者に対しリユース食器を知ってもらうことができた。今後もこうした取組みを一つ一つ行っていきたい。

質疑応答が終わり、議長が一同に採決を諮ったところ、満場一致をもって第5号議案は承認可決された。

②第6号議案「平成29年(2017年)定時評議員会招集の件」

議長は第6号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、山口耕右事務局長が次のように説明した。定時評議員会を招集するため定款第18条第1項の規定により理事会の議決を求める。

開催日時：平成29年5月24日(水) 午後2時00分

開催場所：吹田市商工会議所会館 2階 第1会議室

目的である事項：(1)平成28年度(2016年度)事業報告及び決算の件

(2)評議員3名選任の件

(3)理事7名選任の件

(4)報告事項

- ア 平成28年第4回理事会決議等について
- イ 平成29年第1回理事会決議等について
- ウ 平成29年第2回理事会決議等について

と説明した。

報告が終わり、議長が一同に採決を諮ったところ、満場一致をもって第6号議案は原案通り承認可決された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、議長は午後2時40分に閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第39条第2項の規定により、理事長及び監事は記名押印する。

平成29年5月9日

理事長 西川 俊孝

監 事 竹 内 等

監 事 中 川 孝 基